

2006 天の川ライブフェスティバル

～第2回旭市民音楽祭～

出演者やボランティアスタッフによる手づくりの音楽祭「2006天の川ライブフェスティバル」が8月6日、東総文化会館大ホールと小ホールを会場に開かれました。大ホールでは小学生の吹奏楽を始め、マンドリン、大正琴、民謡、お囃子など10団体が出演。演奏が終わると会場は大きな拍手に包まれていました。また、小ホールでは「星者の行進」と題して6組のバンドが出演。最後は出演者全員による演奏が行われ、会場全体で盛り上がりしました。



◀ 出演者が勢ぞろい



▶ 手話を交えた歌も披露
(三川小学校)

模擬議会で市へ質問 ～子ども議会～



本物の議場を使って、議会の雰囲気を経験してもらおうと、7月25日、子ども議会が開かれました。この日、子ども議員として質問に立ったのは、小学生15人と中学生10人の合計25人。これに、傍聴者として22人の友達も議場に入りました。

子ども議員は、自分たちの学校のことをはじめ環境や福祉、交通安全など、普段から疑問に感じていることを質問し、市長をはじめ市の執行部からの答えに納得がいかないと再度質問する議員もいて、予定した時間をオーバーするほど熱気あふれる議会となりました。

さて、将来この中から何人の議員が誕生するのでしょうか。

第5回旭市グラウンドゴルフ大会



◀ 上位入賞者の皆さん

市内4つの支部から235人が参加して、第5回旭市グラウンドゴルフ大会が7月12日、東総運動場芝生広場で開催されました。芝生の状態も良く、日ごろの腕前を披露するようにホールインワンも多数でるなど、あちらこちらで歓声が上がっていました。なお個人の部優勝は、男子の部が渡辺瑛さん（干潟支部）、女子の部が石坂久子さん（飯岡支部）でした。

ひろえば海が好きになる運動

みんなできれいなまちづくり

環境美化やマナーの大切さに気付いてもらおうと、アジア海洋映画祭イン幕張実行委員会が主催する清掃活動「ひろえば海が好きになる運動」が7月22日、飯岡海岸で行われました。当日は、市民や観光客など200人を超える参加があり、海岸付近に落ちていたペットボトルや空き缶などを拾い集めました。なお、この運動は9月3日に幕張メッセで開催される第2回アジア海洋映画祭のカウントダウンイベントとして、飯岡海岸を含め県内6か所で行われました。



市役所に市旗を掲揚

市役所の玄関前に掲揚台が完成し、8月24日に市長、議長によって国旗と市旗を掲げました。毎日掲げているので、市役所へお越しの際には、ぜひご覧ください。



大原幽学記念館で 「カマドでご飯と勾玉作り」



夏休み中の小学校5、6年生が参加して、7月29日に「カマドでご飯と勾玉作り」が開催されました。参加した子どもたちは、記念館に隣接する県指定文化財「林家住宅」のカマドを使用してご飯炊きに挑戦。炊き上がったご飯でおにぎりを作り、みんなでおいしく食事をした後、記念館を会場に古代の装飾品でお守りとしての意味もあったといわれる勾玉作りを体験。「高麗石」という長方形の石を砥石と紙やすりで削り、植物のつるを使ったひもを穴に通して自分だけの勾玉が出来上がりました。



韓国のガールスカウトと交流



韓国のガールスカウトと旭市のガールスカウトとの交流会が、8月8日、総合体育館で行われました。

これは、平成11年度から始まった日韓ガールスカウト交流事業の一環として、千葉県が受け入れたもので、8月1日に23人が来日。5日からは県内の各地に分かれ、このうち旭市には3人がホームステイしていました。

3人は、日本の中学生にあたる13歳。色鮮やかな民族衣装のハンボ（チマチョゴリ）を身にまとい韓国の歌を披露すると、旭市のガールスカウトも日本の歌や踊りを披露し、言葉や文化の違いを超えて理解を深めました。

野球でスポーツ交流

～第1回旭市親善少年野球大会～



スポーツを通じた交流によって新たなまちづくりを進めようと、8月5日・6日、海上コミュニティ運動公園野球場をメイン会場

に、第1回旭市親善少年野球大会が開かれました。

出場したのは32チーム。県内はもとより茨城県や東京都からの参加もあって、スポーツ交流にふさわしい大会となりました。

また、賞品には旭市産の米や野菜が用意されるなど、市の農産物のPRにも一役かかっていました。

ひまわり2万本の花迷路

西琴田でひまわりが見ごろを迎えています。これは、農村の環境美化を図るため、西琴田区の農業者をはじめ、子ども会や老人クラブなども含めた区民一丸となって育てたもので、3,000㎡の畑いっぱいに2万本のひまわりが咲き、中は迷路として遊べるようになっています。

場所は、県道旭小見川線と広域農道の交差点から300メートルほど東へ進んだ広域農道の北側で、今月上旬くらいまで楽しめます。



「もってえねえ」を考えよう

～地域の環境を考えるタウンミーティング～

8月4日、東総地区環境タウンミーティング実行委員会の主催による「誰でも言いたい放題!! シンポジウム」が開かれました。

会場のさわやかホールには、市民をはじめ市や県の関係者、農業者、生活クラブ生協員などが詰めかけ、「もってえねえ」をキーワードに、食べ残しの処理やごみを出さないための取り組みなど、循環型社会の構築に向けて、もう一度私たちの生活を見直すことについて話し合いました。

